

JKA の 3 つの課題に対する取り組み方針を拝見しました。

- ・ 課題それぞれに責任者をおくべき
- ・ それぞれ、いつまでにやるのかを明記
- ・ できる限り KPI を設定する
- ・ 達成するゴールの明確なイメージができない  
例えば競輪場の定点観測と施行者との連携を強化すると何ができて何が今までと違うのか。コストはやった場合とやらない場合でどれだけ違うのかなど、これをすると何がよくなって、PL にどう影響するのか。

全てにおいて、この部分が必要だと思いました。

方針だからいいのか、とも思いましたが、少し漠然としすぎてこれを全てできたらいいと思いますが、信憑性に欠けると感じました。

また、改革するとか変革すると言うだけはたやすいですが、かなりの混乱がいたるところで起こります。それをどれくらい見込んでいるのか、全てにおいてデメリットとメリットがキチンと設定できているのか、も疑問です。

また。組織の一人一人が危機感を共有しているかは大事な問題です。

最後に競輪が社会に期待されていること、また社会に必要なのかどうなのか、など存在意義を組織内で議論してもいいのではと感じます。

欠席でありながら、不躰なコメントになりましたこと、お詫び申し上げます。

よろしく願いいたします。

三屋裕子